

# 九州・沖縄地域部会活動方針及び活動報告

## 1. 平成29年度活動方針

### 【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な研究・技術能力を高めていく。さらに、県の枠を越えて形成した公設試・産総研九州センター間の人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1) 7つの分科会と2つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

<分科会> ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、  
③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、  
⑥デザイン分科会、⑦IoT分科会

<研究会> ①天草陶石の未利用資源に関する活用研究会、②無焼成プロセス研究会

各分科会は年1回程度の分科会を、研究会は年2回程度の研究会を開催し、地域関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行う。

(2) 九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進すると共に、中堅・中小企業への働きかけを九州一丸となって実行する。

### 【重点活動】

#### (1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバーである九州地方知事会をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業を有機的につなげ、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会との連携を維持・強化していく。

#### (2) 地域部会総会の開催と分科会、研究会活動の推進

産総研九州センターが主体的に運営しているIoT分科会活動において、広域連携による共同研究等を目指す。

また、他の分科会・研究会活動においても、広域連携活動を目指す。

#### (3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

地域企業等へ産総研、公設試等の最新情報並びに産学官の情報交換・交流の場を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を継続開催する方向。企業&公設試・産総研合同成果発表会の同時開催や、講演会・展示会等の各種イベントを効果的に行うことにより、地域企業等へ公設試および産総研九州センターの存在をアピールし、九州・沖縄地域の産業活性化に寄与する。

#### (4) 九州・沖縄地域公設試および産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試&産総研の研究者合同研修会を開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの涵養に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。

## 2. 現在までの活動状況

### 【重点活動に対応する活動状況】

#### (1) 広域連携推進検討 W/G の運営

広域連携推進検討 W/G は、地域産技連と地域部会が連携して、平成29年5月、同9月の2回開催した。

第1回 W/G は、九州・沖縄地域産技連企画調整会議と合同で開催し、九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー（企業&公設試・産総研合同成果発表会同時開催）、九州・沖縄地域部会総会・分科会、第13回九州・沖縄地域公設試および産総研九州センター研究者合同研修会等、各々の事業の実施方針や具体的なスケジュール等を協議した。

第2回 W/G は、8月に開催した合同研修会の開催報告やオープンイノベーションデー事業の進捗状況等を確認するとともに、その他年度内の取り組みについて協議した。

また、W/Gメンバーである九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバーである九州地方知事会（平成28年度幹事：熊本県）は、それぞれの活動について適宜報告し、情報共有を図った。

#### (2) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

平成29年度九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの実行委員会を5月、7月（メール会議）、9月に行った。産業技術オープンイノベーションデーは、産総研九州センターと九州経済産業局が主催し、九州・沖縄各県の公設試、九州地方知事会、九州イノベーション創出戦略会議等と一体となって、平成29年10月11日～13日の間に西日本総合展示場新館（北九州市）においてエコテクノ 2017、中小企業フェア 2017と同時開催した。

最終日に行ったセミナーには、九州・沖縄地域の企業経営者、技術者・研究者、中小企業支援機関のコーディネータ等234名が参加し、また、3日間実施した相談会に38名、パネル展においては、来場者数を計数できないが、3日間の会場来場者総数31,066名が来られる等、公設試、産総研等の最新技術情報の提供や情報交換する交流の場となった。

#### (3) 第13回九州・沖縄地域公設試および産総研九州センター研究者合同研修会の開催

合同研修会は、九州・沖縄の公設試および産総研九州センターから14名の研究者及び民間企業を含む18名の聴講生が参加し、講師、スタッフを含め42名が平成29年8月24日～25日の2日間にわたり長崎県工業技術センター（大村市）において講義・実習を受けた。

1日目は、経済産業省による「日本のイノベーション政策について」の講義、論理的に考える力等の習得を目的に「コミュニケーション」実習を行うとともに、講師も含めた参加者の親睦を深め、今後の研究活動における広域連携を目的に交流会を行った。2日目は広域連携を促進するため長崎県工業技術センターの見学、センター職員との意見交換を行った。さらに(株)ジーエスエレテック九州視察、「公設試との連携成功事例紹介及び企業側から見た共同研究の課題」の講義を実施した。受講者から新たな課題の発見や研究者間の繋がりを作ることができ、今後の業務に役立つものだった等の意見があった。一方、研修内容について、対象者に絞ったカリキュラム、また、異分野との集まりでなく、分野が近いもの同士の集まりがあってもよいのでは等の意見があった。

#### (4) 広域連携活動の推進

平成29年12月8日に九州センターにおいて地域部会総会を開催し、各分科会・研究会の活動報告、広域連携推進検討W/Gの活動報告を行うとともに、公設試(今年度は宮崎県)の取組み紹介、公設試研究者招待プレゼン(福岡県工業技術センター機械電子研究所から「CAEを活用したものづくり企業支援強化について」、産総研プレゼン(製造技術研究部門から「プロセスデータの有効活用による抜取検査の精度向上手法の検討」)などの発表・討論を行った。

同日、7つの分科会の内の4つの分科会が九州センターで開催された。なお、窯業・ナノテク・材料技術分科会は平成29年11月16～17日(大分市)、資源・環境・エネルギー分科会は同年11月9日～10日(那覇市)、デザイン分科会は同年7月20日～21日(大分市)で開催された。

また、天草陶石の未利用資源に関する活用研究会では、第1回ワークショップを平成29年長崎県窯業技術センターにおいて開催された。今年度末に天草において第2回ワークショップを開催する予定。

無焼成プロセス研究会では、今年度末までに無焼成加工技術WG推進会議を開催する予定。

#### 【上記活動状況を含め、現在までの活動全般で特筆すべき内容の詳細】

○九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーにおいて、合同成果発表会に加え、特別講演「RT・IoTで実現する Connected Home の未来と国際標準化」や産総研九州センターの技術シーズを紹介した講演(2件)など最新技術の講演を行った(234名参加)。さらに、関係団体のシーズ65点を紹介したポスター展示会や技術・知財・経営・金融等の相談会を開催した。また、ポスター展においては、研究者が研究内容を分かりやすく伝える能力向上や発表を奨励するために、表彰制度を設け、最優秀・優秀ポスター賞を選考した。

これら一連の取組みを通じ、公設試、産総研等の最新技術情報の提供や情報交換する交流の場としてのオープンイノベーションデーの開催目的を達成することができた。

### 3. 今後の予定、成果、課題等

#### 【今後の予定】

○地域産技連(九州経済産業局)と合同で、平成30年2月(予定)に第3回広域連携推進検討W/Gを開催し、平成29年度産技連九州・沖縄地域部会事業のレビュー、平成30年度同事業の方針・内容等について協議することとしている。

#### 【活動の具体的な成果及び成果見込み】

○機械金属分科会の「金属(切削・溶接・積層)加工技術の高度化に関するWG」から外部資金(サポイン事業)3件採択され、研究活動を実施中。

### 平成30年度活動方針案

#### 【基本方針】

九州・沖縄地域の産学官から真に頼りにされ、必要とされる産技連組織を構築する。具体的には、

地域の中堅・中小企業の技術力の向上を支援し、地域経済を活性化することを目的として、公設試・産総研九州センターの研究者・技術者の基礎的・基盤的な研究・技術能力を高めていく。さらに、県の枠を越えて形成した公設試・産総研九州センター間の人的広域ネットワークを活用し、地域産業の振興に貢献する。

(1) 7つの分科会と2つの研究会を支援し、一層の活性化を図る。

＜分科会＞ ①窯業・ナノテク・材料技術分科会、②資源・環境・エネルギー分科会、③情報・電子分科会、④ライフサイエンス分科会、⑤機械金属分科会、⑥デザイン分科会、⑦IoT分科会

＜研究会＞ ①天草陶石の未利用資源に関する活用研究会、②無焼成プロセス研究会

各分科会は年1回程度の分科会を、研究会は年2回程度の研究会を開催し、地域関連研究開発プロジェクト提案に向けた活動等を行う。

(2) 九州・沖縄地域における広域的な人的ネットワークの強化・連携を促進すると共に、中堅・中小企業への働きかけを九州一丸となって実行する。

## 【重点活動】

(1) 広域連携推進検討 W/G の運営

九州・沖縄各県公設試の企画担当者、九州・沖縄地域産技連担当者、九州・沖縄地域部会担当者及びオブザーバーである九州地方知事会をメンバーとする本 W/G において、産技連九州・沖縄地域部会並びに九州・沖縄地域産技連の様々な事業を有機的につなげ、それらに関する議論を活発に行うことにより、公設試並びに産総研九州センターの広域連携の基本的戦略を構築し、情報交換、人的ネットワークの構築、共同研究の立ち上げ等を推進する。また、引き続き九州地方知事会との連携を維持・強化していく。

(2) 地域部会総会の開催と分科会、研究会活動の推進

産総研九州センターが主体的に運営しているIoT分科会活動において、各公設試等の取り組み紹介等により、共通課題を掘り起こし、明確にして、その課題を解決すべく広域連携で取り組む。

また、他の分科会・研究会活動においても、広域連携活動を目指す。

(3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーの開催

地域企業等へ産総研、公設試等の最新情報並びに産学官の情報交換・交流の場を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を継続開催する。企業&公設試・産総研合同成果発表会の同時開催や、講演会・展示会等の各種イベントを効果的に行うことにより、地域企業等へ公設試および産総研九州センターの存在をアピールし、九州・沖縄地域の産業活性化に寄与する。

(4) 九州・沖縄地域公設試および産総研九州センター研究者合同研修会の開催

公設試&産総研の研究者合同研修会を鹿児島で開催し、研究者・技術者としての知見、スキルの涵養に努めるとともに、研究者相互の広域的な人的ネットワークの構築を図る。